

准教授

浜谷 小百合

■ 学歴

1. 2023年 福岡女子大学大学院人間環境科学研究科博士課程 卒業

■ 学位

1. 2023年 博士（人間環境科学）

■ 研究分野

1. 学校栄養教育
- 2.
- 3.

■ 研究キーワード

1. 子どもの食育
2. 学校給食
3. QOL（Quality of Life）

■ 研究課題

1. 学童期における食教育とその効果についての検討と考察
2. 小学生の食習慣と健康関連 QOL との関連についての考察

■ 担当授業科目

1. 学校栄養指導論Ⅰ（前期）選択
2. 学校栄養指導論Ⅱ（後期）選択
3. 栄養教育実習事前事後指導（通年, 3年後期～4年後期）選択
4. 栄養教育実習（通年） 選択
5. 教職実践演習（後期）選択
6. 総合演習Ⅰ（前期）必修
7. 臨地実習Ⅰ（後期）必修
- 8.
- 9.
- 10.

■ 授業を行う上で工夫した事項

※ 助教・助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項

- | | |
|----|---|
| 1. | 授業科目名【学校栄養指導論Ⅰ】 |
| | 本科目は、栄養教諭の職務内容や求められる役割について学ぶ専門科目である。また、学校給食の意 |

	<p>義と役割の理解を深め児童生徒の食に関する課題とその解決策を探ろうとする意識や態度を持つことを目標とする。講義では、学んだ内容が理論のみで終わらないよう栄養教諭の実務経験から得た実務の実際例も提示しながら進めた。演習やグループワークを取り入れ、双方向の学びとなる授業を構成、実施した。</p>
2.	<p>授業科目名【学校栄養指導論Ⅱ】</p> <p>本科目は、学校栄養指導論Ⅰをふまえて小中学校における食に関する指導内容、授業構想案の作成及び具体的な指導方法を理解することを目標とする。授業は、自作ワークシートを使用しながら授業構想の立案と学習指導案の作成方法についての指導スキルの習得を目指した。授業構想及び学習指導案の作成では、個別指導を実施し、現実的な授業計画となるよう導いた。</p>
3.	<p>授業科目名【栄養教育事前事後指導】</p> <p>本科目は、実際の教育現場において実習を受ける際の心構えや留意事項、具体的な指導方法を理解、習得し、実習を効果的に進めることができることを目標とする。また、実習終了後には実習に関する反省や問題点等の分析を行い、今後の教育実践へと繋ぐことも目標としている。授業においては学習指導案の作成や模擬授業を複数回実施し、実習校からの要望に対応できるレベルの指導スキルの習得を目指した。また、希望者には別途個別指導を実施し、指導スキルのさらなる定着を図った。実習終了後は実習報告書やプレゼン発表資料を作成し、実習報告会を実施した。これからの教師には、ICTを活用した教材作成や授業作りが必須であることから、伝わる資料内容となるように指導助言を行った。</p>
4.	<p>授業科目名【栄養教育実習】</p> <p>本科目は、履修した教職科目での理論やスキルを基盤に学校での食育指導の一端を体験することを目標とする。また、児童生徒の人格形成と身体の成長と発達に寄与しつつ、教育における研究課題を発見し、自己の望ましい教師像を形成することを目標とする。実習期間中には実習校の管理職や学級担任、栄養教諭と意見交換を行い、実習後の学生への指導や次年度以降の栄養教育実習の改善に役立てた。</p>
5.	<p>授業科目名【教職実践演習】</p> <p>本科目では、他学科の教職課程指導者と協力した授業を実施し、将来的に栄養教諭になるために各自に必要と考えられる課題の発見と向上を目標とした。授業では、教育実習や教師としての資質能力に関する自己確認シートを用いて各自の残された課題を発見し、グループワークやディスカッションを通じて、自己の解決を目指す場を設定した。また、外部講師として現職の栄養教諭を招いて意見交流を行い、栄養教諭の実務に対する多様な視点を持たせ栄養教諭になるための学びの集大成とした。</p>
6.	<p>授業科目名【総合演習Ⅰ、臨地実習Ⅰ】</p> <p>本科目は、臨地実習Ⅰ（小学校、事業所、児童福祉士悦、高齢者福祉施設における給食の運営に関わる学外実習）と併せた演習である。実習前の指導、実習に向けた事前課題学習、実習時に行う栄養指導媒体作成、実習報告会に向けたプレゼンテーションの作成に関して、本科目担当教員、助手教員とともに演習時間外も含めて指導に尽力した。臨地実習中には、実習先の管理職（施設長）及び関係職員の方々と意見交換を行い、実習後の学生指導や次年度以降の臨地実習の改善に役立てた。</p>

■ 学会における活動

	加入時期	所属学会等の名称	役職名等（任期）
1.	2015年5月～現在に至る	日本栄養改善学会	

2.	2017年1月～現在に至る	日本食育学会	
3.	2020年11月～現在に至る	日本公衆衛生学会	
4.	2021年9月～現在に至る	日本健康支援学会	

■ 研究業績等に関する事項（2023年度）

	発行又は 発表の年月	著書、学術論 文等の名称	単著・ 共著の別	発行所、発表雑 誌等又は発表学 会等の名称	概 要
（著書）					
1.					
2.					
3.					
（学術論文）					
1.	2024年3月	健康支援学 会 第10回 優秀論文賞 受賞 「小学校 5 年生児童の 食習慣、食環 境および保 護者の食習 慣と 1 年後 の児童 QOL との関連：縦 断的検討」	共著	日本健康支援学 会健康支援 第 24 巻 2 号 157- 165	児童が朝食を毎日食べる食習慣は児童 の 1 年後の QOL の高さの維持や向上と 関連していることが示唆された。保護者 の朝食を毎日食べる習慣は 1 年後の児童 QOL の高さの維持や向上と関連があり、 児童の朝食を毎日食べる習慣との一致 性があったことから、児童の QOL 向上 には保護者の食習慣が重要であること が再認識された。
2.					
3.					
（翻訳）					
1.					
2.					
3.					
（学会発表）					
1.					
2.					
3.					

■ 外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）

(1) 共同研究

	研究題目	交付団体	研究者 ○代表者（）内は学外 者	交付決定額 (単位：円)
1.				
2.				
3.				

(2) 個人研究				
	研究題目	交付団体	交付決定額 (単位：円)	備考
1.				
2.				
3.				

■ 社会における活動

	任 期 期 間 等	団体・委員会等の名称 (内 容)	役 職 名 等
1.	2023年10月～2024年2月	北九州市学校給食調理等業務委託業者選考委員会	委員
2.	2023年11月23日	「食と健康」に関する西南女学院大学・九州歯科大学連携公開講座～「親子で歯っぴー食育講座」～	講演「おうちで楽しく食育」を担当
3.			

■ 学内における活動等（役職、委員、学生支援など）

	任 期 期 間 等	会議・委員会等の名称 (内 容)	役 職 名 等
1.	2023年4月～現在に至る	教職課程委員会	
2.			
3.			